

【貫練会報】

編	集	年	月	日	種別	タイトル	著者	頁数	備考
1	1	1898	4		題字	(題字)	瑛光院		
1	1	1898	4		講義	真宗安心相承要義鈔	香山院龍温	1	
1	1	1898	4		演説	明治三十一年三月二十六日於貫練会演説	吉谷覺寿	10	
1	1	1898	4		雑録	慧燈大師御詠歌		14	
1	1	1898	4		雑録	詩歌〔祝貫練会新設／同／同…〕	調雲集／高松了慧／清井湛靈 ／土岐善静／大河内秀雄／脇 坂三応／幽翠仙史／其浦現達 ／其浦谷子／浅井繁雄	17	
1	1	1898	4		雑録	祝辞	伊藤大忍	19	
1	1	1898	4		雑録	祝辞	平松理英	19	
1	1	1898	4		雑録	答辞	秀起人総代某	20	
1	1	1898	4		雑録	答辞	6ページ欠		
1	1	1898	4		雑録	会員氏名(次第不順)		27	
1	2	1898	6	12	会告				ページなし、赤紙
1	2	1898	6	12	講義	真宗安心相承要義鈔(其二)	香山院龍温	1	
1	2	1898	6	12	講義	大無量壽経悲化段中五悪段講義	香樹院徳龍	7	
1	2	1898	6	12	講演	本師本仏(五月八日於本会)	龍山慈影	13	
1	2	1898	6	12	法話	慧燈大師四百回御忌法話 於鳴滝常徳寺	河崎顯成	18	
1	2	1898	6	12	法話	明治三十一年六月三日高倉大学寮貫練堂に於て御書立披露	龍山慈影	21	明治29年5月、寺務所
1	2	1898	6	12	雑録	演説大意	吉谷覺寿	22	
1	2	1898	6	12	雑録	会員氏名(接前)(順不順)		25	
1	2	1898	6	12	雑録	会費寄付人名		27	
1	3	1898	7	12	講義	真宗安心相承要義鈔(其三)	香山院龍温	1	
1	3	1898	7	12	講演	十孩久遠(六月十二日於本会)	広陵了栄	5	
1	3	1898	7	12	法話	教学振起御消息法話	龍川賢隨	10	
1	3	1898	7	12	法話	大学寮予修報恩講法話	香龍院渡邊法瑞	16	
1	3	1898	7	12	雑録	会告(論題 仏土真取)		20	
1	3	1898	7	12	雑録	質疑 悪人正機の間(第一)		20	
1	3	1898	7	12	雑録	真宗高倉大学寮取調書		21	
1	3	1898	7	12	雑録	会費寄付人名		23	
1	3	1898	7	12	雑録	大学寮慰労会記事		27	
1	3	1898	7	12	雑録	隨喜会偶作	調雲集	27	
1	3	1898	7	12	雑録	隨喜会席上演説	龍山慈影	27	
1	3	1898	7	12	雑録	同	吉谷覺寿	29	
1	3	1898	7	12	雑録	同	江村秀山	30	
1	4	1898	8	12	講義	真宗安心相承要義鈔(其四)	香山院龍温	1	
1	4	1898	8	12	講義	大無量壽経五悪段講義(其二)	香樹院徳龍	5	
1	4	1898	8	12	講演	十孩久遠(承前)		11	
1	4	1898	8	12	法話	慧燈大師四百回忌法話	調雲集	16	
1	4	1898	8	12	法話	大学寮特別施齋終法話	相馬觀梁	19	
1	4	1898	8	12	雑録	質疑 悪人正機の答(第一)		22	
1	4	1898	8	12	雑録	寄書 迷信者の悔悟談	一閑生	25	
1	4	1898	8	12	雑録	安居記事概略		26	
1	4	1898	8	12	雑録	貫練会主旨書		29	
1	4	1898	8	12	雑録	会員氏名(第三回)		30	
1	4	1898	8	12	雑録	会費寄付人名(第三回)		31	
1	5	1898	9	12	講義	真宗要義鈔	開悟院靈咄	1	
1	5	1898	9	12	講義	大無量壽経五悪段講義(其三)	香樹院徳龍	7	本文には(其四)と記載されている。
1	5	1898	9	12	講演	二種法身(七月十日於本会)	本多祐護	13	
1	5	1898	9	12	法話	真宗大学寮報恩講法話(七月二十七日貫練堂に於て)	龍山慈影	17	
1	5	1898	9	12	法話	御文法話	龍川賢隨	21	
1	5	1898	9	12	雑録	質疑 悪人正機/答(承前)		25	
1	5	1898	9	12	雑録	寄書 迷信者の悔悟談(其二)	一閑生	28	
1	5	1898	9	12	雑録	真宗高倉大学寮取調書(其二)		30	
1	5	1898	9	12	雑録	会員寄付人名		32	
1	6	1898	10	12	講義	真宗要義鈔 前集の続き	開悟院靈咄	1	
1	6	1898	10	12	講義	大無量壽経五悪段講義(其四)	香樹院徳龍	7	
1	6	1898	10	12	講演	出世本懐	脇坂三応	13	
1	6	1898	10	12	法話	寛政十年戊午四月四日遠夜より同十一日中まで七昼夜 従如上人三十三回忌御忌御法会初夜批判	香月院	16	
1	6	1898	10	12	法話	京都中学に於て	宮部円成	24	
1	6	1898	10	12	雑録	真宗高倉大学寮取調書(其三)		30	
1	6	1898	10	12	雑録	会員氏名(第四回)		31	
1	7	1898	11	12	講義	真宗要義鈔(其三)	開悟院靈咄	1	
1	7	1898	11	12	講義	大無量壽経五悪段講義(其五)	香樹院徳龍	7	
1	7	1898	11	12	講演	出世本懐(其二)	脇坂三応	17	
1	7	1898	11	12	法話	寛政十年戊午四月四日遠夜より同十一日中まで七昼夜 従如上人三十三回忌御忌御法会六日遠夜法譚	円業院宣明	21	
1	7	1898	11	12	法話	(法話)	赤松円純	26	
1	7	1898	11	12	雑録	寄書 大真会員迷信悔悟談(第五集の続き)	一閑生	28	
1	7	1898	11	12	雑録	真宗高倉大学寮取調書(其四)		30	
1	7	1898	11	12	雑録	会費寄付人名(第六回)		31	
1	8	1898	12	12	(予告)	安心問題			(目次) 〔巻末に前号の寄付金額の正誤訂正あり〕 〔昨年来本件に関する始末書は次集に掲載すべし〕という記述がある。
1	8	1898	12	12	講義	真宗要義鈔(其四)	開悟院靈咄	1	
1	8	1898	12	12	講義	大無量壽経五悪段講義(其六)	香樹院徳龍	7	
1	8	1898	12	12	法話	明治三十一年十一月二十七日大明堂初夜改悔批判	吉谷覺寿	13	
1	8	1898	12	12	演説	宗祖大師御茶毘所修繕落成式演説	江村秀山	18	
1	8	1898	12	12	雑録	本会特別寄付人名		21	
1	8	1898	12	12	雑録	会費寄付人名(第七回)		21	
1	8	1898	12	12	雑録	稟告		26	最初の一行が見切れている
1	8	1898	12	12	雑録	取消		26	第五集金五十銭工藤礼助は取消ス
1	8	1898	12	12	雑録	貫練会趣旨書			(本文欠)
1	9	1899	1	12	講義	真宗要義鈔(其五)	開悟院靈咄	1	
1	9	1899	1	12	講義	大無量壽経五悪段講義(其七)	香樹院徳龍	8	
1	9	1899	1	12	講演	信願同異	脇坂三応	14	
1	9	1899	1	12	法話	新年法話	南条文雄	21	
1	9	1899	1	12	雑録	本会特別寄付人名(第二回)		29	
1	9	1899	1	12	雑録	会費寄付人名(第八回)		29	
1	9	1899	1	12	雑録	貫練会趣旨書			(本文欠)
1	10	1899	2	12	講義	真宗要義鈔(其六)	開悟院靈咄	1	
1	10	1899	2	12	講演	二種深信	吉谷覺寿	4	
1	10	1899	2	12	演説	明治三十二年二月五日貫練会に於て演説大意	吉谷覺寿	11	
1	10	1899	2	12	法話	貫練会一週年説教	松見善月	13	
1	10	1899	2	12	雑録	祝賀概況		17	
1	10	1899	2	12	雑録	祝辞	龍山慈影	18	
1	10	1899	2	12	雑録	貫練会一週年を祝す	蓮船／小田慶暎	19	小田は筆記
1	10	1899	2	12	雑録	貫練会の隆盛を祝す	井上円了	23	
1	10	1899	2	12	雑録	祝辞	大伴義正	23	
1	10	1899	2	12	雑録	祝辞	大野玄映	24	
1	10	1899	2	12	雑録	答辞	脇坂三応	25	
1	10	1899	2	12	雑録	詩歌〔祝貫練会一週年…〕	南条文雄／高松了慧／本多祐護 ／思道亭吐仏	25	
1	10	1899	2	12	雑録	貫練会収支決算報告(自明治三十一年二月至三十二年一月)		27	
1	10	1899	2	12	雑録	夏安居講義の変更		31	
1	10	1899	2	12	雑録	安居の休講		31	
1	10	1899	2	12	雑録	会費寄付人名(第九回)次第不順		32	

1	10	1899	2	12	雑録	貴練会趣旨書		33	
1	10	1899	2	12					巻末には別紙で同号の正誤表が貼付されている。
2	1	1899	3	12	講義	真宗要義鈔(其七)	閑楮院雲卧	1	
2	1	1899	3	12	講義	大無量壽經五惡段講義(其八)	香樹院徳龍	11	
2	1	1899	3	12	法話	寛政十年二月二十日晝夜より五晝夜の間越前吉崎御坊に於て蓮如上人三百年御忌御法要同二十三日初夜批判	香月院深劔	17	
2	1	1899	3	12	法話	京都中学報恩講説教	松見善月	25	
2	1	1899	3	12	雑録	御遷化の訛伝		29	
2	1	1899	3	12	雑録	脇坂三郎師逝く		29	
2	1	1899	3	12	雑録	追吊法要		29	
2	1	1899	3	12	雑録	詠歌の正誤		29	
2	1	1899	3	12	雑録	会告(詠歌の正誤/職員の変更)		30	
2	1	1899	3	12	雑録	会員氏名(第五回)		31	
2	1	1899	3	12	雑録	会費寄付人名(第十回)		32	
2	1	1899	3	12	雑録	貴練会趣旨書		(本文欠)	
2	2	1899	4	25	講義	言南無者の釈義	易行院法海	1	
2	2	1899	4	25	講義	活語用例	赤松円純	7	
2	2	1899	4	25	講演	他方回向の信相	石川了因	13	
2	2	1899	4	25	講演	指方立相	天野玄映	18	
2	2	1899	4	25	法話	越前国下石田村弥七郎方に於て	香月院深劔	22	
2	2	1899	4	25	演説	宗祖大師御誕生会祝賀演説(四月一日)	江村秀山	26	
2	2	1899	4	25	詞藻	漢詩(梅数株…)	高松了慧	29	
2	2	1899	4	25	詞藻	和歌(貴練会の一週年に/雪中興/雨中灯…)	赤松円純/穂谷憲隆/武田哲	29	
2	2	1899	4	25	雑録	彼岸会		30	
2	2	1899	4	25	雑録	占部親順氏の解職		30	
2	2	1899	4	25	雑録	許氏真宗に帰依す		30	
2	2	1899	4	25	雑録	会費寄付人名(第十一回)		31	
2	2	1899	4	25	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	3	1899	5	19	講義	言南無者の釈義(其二)	易行院法海	1	
2	3	1899	5	19	講義	活語用例(第二)	赤松円純	6	
2	3	1899	5	19	講演	二種法身 前巻五号の続き	本多祐護	16	
2	3	1899	5	19	詞藻	漢詩 [己亥五月一日読南条博士赴賀州途上雑詠和其韻/賀藤本宗賢師書書…]	高松陸舟	25	
2	3	1899	5	19	詞藻	和歌(述懐/支那へ布教にゆく人を送ると)	暁香/赤松円純	26	
2	3	1899	5	19	雑録	安心調理結末		27	
2	3	1899	5	19	雑録	寺本婉雅氏携帯の書簡		28	
2	3	1899	5	19	雑録	外山博士		29	
2	3	1899	5	19	雑録	御扁山		29	
2	3	1899	5	19	雑録	会告(教報募集/発行遅延)		30	
2	3	1899	5	19	雑録	会費寄付人名(第十二回)		30	
2	3	1899	5	19	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	4	1899	6	15	講義	言南無者の釈義(其三)	易行院法海	1	
2	4	1899	6	15	講義	活語用例(其三)	赤松円純	7	
2	4	1899	6	15	講演	二種深信(通俗簡易弁)	真成院千巖	17	
2	4	1899	6	15	法話	慧燈大師四百回忌法話五日譚に於て(六月四日)	河崎顯成	22	
2	4	1899	6	15	詞藻	漢詩(慧燈大師四百回忌辰恭賦一律/応某上人需/奉祝貴練会)	河崎顯成/高松陸舟/神田岨洲	27	
2	4	1899	6	15	詞藻	和歌(浦戸/諫鼓音深/窓新竹)	南山撫松	27	
2	4	1899	6	15	雑録	巢鴨監獄教誨師		28	
2	4	1899	6	15	雑録	智徳学園設立		28	
2	4	1899	6	15	雑録	台湾の布教		28	
2	4	1899	6	15	雑録	文学寮の演説会		29	
2	4	1899	6	15	雑録	桑港仏教青年会		29	
2	4	1899	6	15	雑録	東亜学堂の設立		29	
2	4	1899	6	15	雑録	奥村氏兄妹の憤劇		29	
2	4	1899	6	15	雑録	鹿兒島の仏教		30	
2	4	1899	6	15	雑録	会告(会費未納の諸氏へは自今会報の発送停止すべくにつき…/講師の用件を帯び各地に出張する会員へは…/前集に会告したる如く…)		30	会費未納者への督促
2	4	1899	6	15	雑録	会費寄付人名(第十三回)		31	
2	4	1899	6	15	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	5	1899	7	31	講義	言南無者の釈義(其四)	易行院法海	1	
2	5	1899	7	31	講義	大無量壽經五惡段講義(其九)	香樹院徳龍	7	
2	5	1899	7	31	講演	宗義要論		13	
2	5	1899	7	31	法話	序修報恩講説教 明治三十二年七月二十六日真宗高倉大学寮に於て	吉谷覺寿	17	
2	5	1899	7	31	詞藻	漢詩 [己亥五月読四教儀集註…]	高松陸舟	21	
2	5	1899	7	31	詞藻	和歌(新樹坊月/閑居橋)	南山撫松	21	
2	5	1899	7	31	雑録	寶主問答	思想亭主人	22	
2	5	1899	7	31	雑録	慰勞会報告	閑神院広陵了栄	24	
2	5	1899	7	31	雑録	慰勞会演説大意(慰勞会即事獻筆此日門前標札有慰勞字故結末及之/同演説)	吉谷覺寿(高松陸舟/江村秀山)	25	
2	5	1899	7	31	雑録	大学寮記事(夏安居満講/聴講試験及報恩講/現在三講者/来三十三年夏安居講本/本年秋安居/唯識卅述記講演)		30	
2	5	1899	7	31	雑録	米南講習会		32	
2	5	1899	7	31	雑録	仏教興啓会		32	
2	5	1899	7	31	雑録	宗教宣布の件		(本文欠)	
2	5	1899	7	31	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	6	1899	9	12	講義	言南無者の釈義(其五)	易行院法海	1	
2	6	1899	9	12	講義	大無量壽經五惡段講義(其十)	香樹院徳龍	8	
2	6	1899	9	12	講演	宗義要論(承前)		15	
2	6	1899	9	12	演説	明治三十二年六月二十八日大師堂に於て	宮部円成	19	
2	6	1899	9	12	雑録	寶主問答(承前)		25	
2	6	1899	9	12	雑録	嗣會長逝去		27	
2	6	1899	9	12	雑録	転動		27	
2	6	1899	9	12	雑録	秋安居		27	
2	6	1899	9	12	雑録	会員氏名(第六回)		28	
2	6	1899	9	12	雑録	会費寄付人名(第十四回)		29	
2	6	1899	9	12	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	7	1899	10	20	講義	大無量壽經五惡段講義(其十一)	香樹院徳龍	1	
2	7	1899	10	20	講演	信願交際弁	南条神興	6	
2	7	1899	10	20	講演	肉食妻帯(明治二十六年六月二十七日本山白書院に於て)	雲英晃耀	9	
2	7	1899	10	20	講演	真宗之徒	広瀬守一	12	
2	7	1899	10	20	説教	(御本書の文に依りて)	牧野神爽	19	
2	7	1899	10	20	詞藻	漢詩 [呈広陵和尚/春夜/小原是水太夫家看梅…]	水松山衲 龍舟/一色堂成	24	
2	7	1899	10	20	雑録	法義閑譚	思想亭主人	25	
2	7	1899	10	20	雑録	寶主問答(承前)		29	
2	7	1899	10	20	雑録	彼岸会		31	
2	7	1899	10	20	雑録	会費寄付人名(第十五回)		32	
2	7	1899	10	20	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	8	1899	11	20	講義	大無量壽經五惡段(其十二)	香樹院徳龍	1	
2	8	1899	11	20	講演	肉食妻帯(其二)	雲英晃耀	9	
2	8	1899	11	20	講演	仏者の俗学	石川了因	12	
2	8	1899	11	20	法話	改悔批判	香月院深劔	16	
2	8	1899	11	20	法話	説教(承前)	牧野神爽	24	
2	8	1899	11	20	雑録	漢詩(月盡興/偶成/秋日山寺)	水松山衲	27	
2	8	1899	11	20	雑録	法義閑譚(承前)	思想亭主人	25	
2	8	1899	11	20	雑録	会費寄付人名(第十六回)		31	
2	8	1899	11	20	雑録	貴練会主旨書		(本文欠)	
2	9	1899	12	20	(広告)	緊急広告(本会は一切の事務は当分大学寮内にて取扱候…/為替振局は…/会費滞納の分は本月三十一日迄…)	貴練会事務係	(表紙裏)	

2	9	1899	12	20	講義	信願交際弁(承前)	南条神興	1	
2	9	1899	12	20	法話	三河国御教示御消息披露之演説	龍山慈影	4	
2	9	1899	12	20	法話	三河国赤羽別院説教(明治三十二年十月三十一日)	広瀬守一	15	
2	9	1899	12	20	法話	興啓会演説(明治三十二年十一月廿六日貫練会に於て) 但し同会趣意の序説を略す	牧野神爽	22	
2	9	1899	12	20	雑録	三河御教示巡回日記	三河国某	27	
2	9	1899	12	20	雑録	会費寄付人名(第十七回)		30	
2	9	1899	12	20	雑録	貫練会主旨書			(本文欠)
2	10	1900	1	12	講義	肉食妻帯(其三)(第八集の続き)	雲英晃燿	1	
2	10	1900	1	12	法話	三河国御教示説教	龍山慈影	5	
2	10	1900	1	12	法話	赤羽別院説教(承前)	広瀬守一	13	
2	10	1900	1	12	法話	一月一日法話	宮部円成	15	
2	10	1900	1	12	演説	十五日会席上演説	江村秀山	24	
2	10	1900	1	12	雑録	法義開讀(第八集の続き)	思想亭主人吐仏	26	
2	10	1900	1	12	雑録	会費寄付人名(第十八回)		32	
2	10	1900	1	12	雑録	貫練会主旨書			(本文欠)
2	10	1900	1	12	雑録	会告			(本文欠)
3	1	1900	2	15	講義	御文要義	真成院千蔵	1	
3	1	1900	2	15	講演	平生業成	吉谷覺寿	5	
3	1	1900	2	15	法話	道宗覚書二十一箇条講話	上野丹山	9	
3	1	1900	2	15	法話	御文法話	釈現尚	13	
3	1	1900	2	15	雑録	詞藻〔松上鶴／雪中竹／春歌…〕	本多祐護／赤松円純／覺寿／ 片桐嘯月／神田岨洲／瀧尾可 峰／柳説真／穂谷憲隆	27	
3	1	1900	2	15	雑録	会費寄付金額収報告(二月二十五日迄)		29	
3	1	1900	2	15	雑録	本会収支決算報告(従明治三十二年二月至明治三十三年一 月)		32	
3	1	1900	2	15	雑録	本会主旨書規則			(本文欠)
3	1	1900	2	15	雑録	会告			(本文欠)
3	2	1900	3	15	講義	三経題題	雲澗院神興	1	
3	2	1900	3	15	雑録	詞藻〔款異鈔をひらきて見て／本願のおごりきくといへるこ とを／妄念のやまさる意を…〕	現尚／吐仏／平畑／千代尼／ 水松山納	6	
3	2	1900	3	15	講義	御文要義(其二)	真成院千蔵	7	
3	2	1900	3	15	法話	道宗覚書二十一箇条講話(其二)	丹山順芸	11	
3	2	1900	3	15	雑録	彼岸の説	牧野神爽	19	
3	2	1900	3	15	雑録	会費寄付金額収報告(二月二十五日迄)		29	
3	2	1900	3	15	雑録	本会主旨書規則			(本文欠)
3	2	1900	3	15	雑録	会告			(本文欠)
3	3	1900	4	22	講義	御文要義(其三)	真成院千蔵	1	
3	3	1900	4	22	講義	發願回向	広瀬守一	5	
3	3	1900	4	22	法話	御文「出家發心」法話開書	釈現尚	13	
3	3	1900	4	22	法話	道宗覚書二十一箇条講話(其三)	丹山順芸	18	
3	3	1900	4	22	法話	大師堂に於て	宮部円成	23	
3	3	1900	4	22	雑録	詞藻〔真無量院殿御七年忌の御法要にあひ奉りければ／真無 量院殿の御七回忌に懐旧非一といへる題にて…〕	釈現尚／赤松円純／暁香／了 雄	33	
3	3	1900	4	22	雑録	本年夏安居		33	
3	3	1900	4	22	雑録	宗乘講纂		33	
3	3	1900	4	22	雑録	会費寄付金額収報告		34	
3	3	1900	4	22	雑録	会告			(本文欠)
3	4	1900	5	31	(会告)	緊急会告	貫練会司計係／貫練会発送係		(表紙裏)
									「会費滞納の分は自今発送停止すへきにつき従来送付したる 会報の部数に応じ速に御送金ありたし 。住所移転の時は新旧両所とも必ず報導せられたし」と記され ている。
3	4	1900	5	31	講義	御文要義(其四)	真成院千蔵	1	
3	4	1900	5	31	法話	臨居老僧御教示(文政十二丑年初夏桑名御坊に於て)	香樹院徳龍	9	
3	4	1900	5	31	雑録	詞藻〔嵯峨の釈迦如來のことを詠みてよと人のいひければ法 華の常在靈鷲山の分を思ひ合わせて…〕	円純／水松山納	14	
3	4	1900	5	31	法話	道宗覚書二十一箇条講話(其四)	丹山順芸	15	
3	4	1900	5	31	演説	不二之玄門	江村秀山	23	
3	4	1900	5	31	雑録	夏安居の説	日南講師説開書、釈現尚謹定	26	
3	4	1900	5	31	雑録	大学寮条例改正		30	
3	4	1900	5	31	雑録	広陵講師逝去		30	
3	4	1900	5	31	雑録	会費寄付金額収報告		32	
3	4	1900	5	31	雑録	会告			(本文欠)
3	5	1900	6	25	講義	御文要義(其五)	真成院千蔵	1	
3	5	1900	6	25	法話	御文に依りて(享和二癸亥八月二十八日江州大通寺御坊に於 て)	皆往院鳳嶺	9	
3	5	1900	6	25	雑録	詞藻(釈現念碑)	雲英晃燿	16	
3	5	1900	6	25	法話	道宗覚書二十一箇条講話(其五)	丹山順芸	17	
3	5	1900	6	25	法話	御法要説教(四月十四日大師堂に於て)第三編第三集の続き	宮部円成	25	
3	5	1900	6	25	雑録	舍利考		29	
3	5	1900	6	25	雑録	哲学館の拡張		32	
3	5	1900	6	25	雑録	会費寄付金額収報告			(本文欠)
3	5	1900	6	25	雑録	貫練会主旨書			(本文欠)
3	5	1900	6	25	雑録	会告			(本文欠)
3	6	1900	7	26	講義	御文要義(其六)	真成院千蔵	1	
3	6	1900	7	26	法話	道宗覚書二十一箇条講話(其六)	丹山順芸	8	
3	6	1900	7	26	法話	御法要説教	宮部円成	16	(四月十四日大師堂に於て)第三編第五集の続き
3	6	1900	7	26	雑録	詞藻(首夏僧房雑吟)	矢田照	18	漢詩
3	6	1900	7	26	雑録	舍利考(前集の続き)		19	
3	6	1900	7	26	雑録	安居紀事		29	
3	6	1900	7	26	雑録	所化		30	
3	6	1900	7	26	雑録	御垂示顕正録		30	
3	6	1900	7	26	雑録	会費寄付金額収報告		31	
3	6	1900	7	26	雑録	貫練会主旨書			(本文欠)
3	6	1900	7	26	雑録	会告			(本文欠)
3	7	1900	9	26	講義	改悔文略弁(其一)	開悟院靈晔	1	
3	7	1900	9	26	講義	タスケタマヘ之説	牧野神爽	6	
3	7	1900	9	26	演説	形体の美よりも精神の美を本とすへし	吉谷覺寿	9	
3	7	1900	9	26	演説	道宗覚書二十一箇条講話(其七)	丹山順芸	13	
3	7	1900	9	26	演説	説教	赤松円純	21	
3	7	1900	9	26	雑録	舍利考(前集/続き)		25	
3	7	1900	9	26	雑録	詞藻〔新法主台下の仏舍利奉迎の為に暹羅に渡り給ふを神戸 の港まで送り申して…〕	円純	27	
3	7	1900	9	26	雑録	九州日記	江村秀山	28	
3	7	1900	9	26	雑録	安居記事(前集のつゞき)		29	
3	7	1900	9	26	雑録	会費寄付金額収報告			(本文欠)
3	7	1900	9	26	雑録	貫練会主旨書			(本文欠)
3	7	1900	9	26	雑録	会告			(本文欠)
3	8	1900	10	15	講義	改悔文略弁(其二)	開悟院靈晔	1	
3	8	1900	10	15	講義	タスケタマヘ之説(其二)	牧野神爽	4	
3	8	1900	10	15	講演	日本密教(其一)	石川了因	9	
3	8	1900	10	15	法話	改悔批判	春月院深励	13	
3	8	1900	10	15	演説	道宗覚書二十一箇条講話(其八)	丹山順芸	19	
3	8	1900	10	15	雑録	九州日記(承前)	江村秀山	31	
3	8	1900	10	15	雑録	会費領収報告		32	
3	9	1900	11	15	講義	改悔文略弁(其三)	開悟院靈晔	1	
3	9	1900	11	15	講義	タスケタマヘ之説(其三)	牧野神爽	6	
3	9	1900	11	15	講演	日本密教(其二)	石川了因	10	
3	9	1900	11	15	説教	〔教行信証の中に、…〕	真成院千蔵	14	

3	9	1900	11	15	法話	道宗覚書二十一箇条(其九)	丹山順芸	19	
3	9	1900	11	15	法話	浄土真宗の御安心	江村秀山	25	
3	9	1900	11	15	雑録	宗乘講義		30	
3	9	1900	11	15	雑録	九州日記	江村秀山	31	
3	9	1900	11	15	雑録	会費領収報告		32	
3	10	1900	12	15	講義	名号成就	冷香院潜龍	1	
3	10	1900	12	15	講義	タスケタマヘ之説(其四)	牧野神爽	5	
3	10	1900	12	15	説教	明治三十三年十一月二十七日大師堂に於て改悔批判	吉谷覺寿	17	
3	10	1900	12	15	法話	浄土真宗の御安心	江村秀山	21	
3	10	1900	12	15	雑録	東叢義門師伝		27	
3	10	1900	12	15	雑録	会費寄付金額収支報告		31	
4	1	1901	1	15	箴言	箴言	香山院龍温	1	
4	1	1901	1	15	講義	聖人一流御文路弁(其一)	開悟院靈暉	2	
4	1	1901	1	15	講義	名体不離	冷香院潜龍	5	
4	1	1901	1	15	講義	タスケタマヘ之説決訳(其一)	牧野神爽	9	
4	1	1901	1	15	講演	日本密教	石川了因	14	
4	1	1901	1	15	説教	明治三十四年十一月二十三日大師堂に於て改悔批判	渡辺法瑞	17	
4	1	1901	1	15	説教	新年説教	本多祐護	22	
4	1	1901	1	15	雑録	詞藻【誦伊沢道一著聖徳皇太子事跡録有感/明治辛丑第二日試筆/雪中竹…】	小栗布岳/小川又次郎/吐仏	30	
4	1	1901	1	15	雑録	年初一事		32	
4	1	1901	1	15	雑録	会費領収報告		32	
4	2	1901	2	15	講義	聖人一流御文路弁(其二)	開悟院靈暉	1	
4	2	1901	2	15	講義	人法所帰	冷香院潜龍	7	
4	2	1901	2	15	講義	タスケタマヘ之説決訳(其二)	牧野神爽	10	
4	2	1901	2	15	説教	説教明治三十四年一月四日尾張国弥富立松家に於て	吉谷覺寿	15	
4	2	1901	2	15	演説	婦人法話会に於て	江村秀山	20	
4	2	1901	2	15	雑録	臨末余血	小栗栖蓮船	26	
4	2	1901	2	15	雑録	詞藻【元旦偶成/龔前韻…】	西海甲石/水松山衲	29	
4	2	1901	2	15	雑録	正証		29	
4	2	1901	2	15	雑録	会費領収報告		29	
4	3	1901	3	15	講義	聖人一流御文路弁(其三)	開悟院靈暉	1	
4	3	1901	3	15	講演	仏心凡心一体の説	蓮元慈広	6	
4	3	1901	3	15	説教	説教	香月院深励	8	
4	3	1901	3	15	説教	説教	赤松円純	15	
4	3	1901	3	15	演説	酬恩社発会式席上に於て	江村秀山	22	
4	3	1901	3	15	雑録	御下賜		27	
4	3	1901	3	15	雑録	御殿講		27	
4	3	1901	3	15	雑録	臨末余血(其二)	小栗栖蓮船	27	
4	3	1901	3	15	雑録	大谷史要序	広瀬守一	31	
4	3	1901	3	15	雑録	詞藻(孤山絶句)	水松山衲	31	「孤山絶句」は漢詩の連作。
4	3	1901	3	15	雑録	訂正		32	
4	3	1901	3	15	雑録	会費領収報告		32	
4	4	1901	4	15	講義	聖人一流御文路弁(其四)	開悟院靈暉	1	
4	4	1901	4	15	講演	仏心凡心一体の説(其二)	蓮元慈広	7	
4	4	1901	4	15	説教	報恩講改悔批判	香月院深励	10	
4	4	1901	4	15	説教	説教	石川了因	19	
4	4	1901	4	15	雑録	臨末余血(其三)	小栗栖蓮船	26	
4	4	1901	4	15	雑録	詞藻【孤山絶句(承前)…】	水松山衲/西海甲石	29	「孤山絶句」は漢詩の連作。
4	4	1901	4	15	雑録	会費領収報告		30	
4	5	1901	5	15	講義	聖人一流御文路弁(其五)	開悟院靈暉	1	
4	5	1901	5	15	説教	明治三十四年四月十三日総会所に於て	吉谷覺寿	7	
4	5	1901	5	15	説教	説教	大江琢成	13	
4	5	1901	5	15	演説	釈尊降誕会を祝して	江村秀山	21	
4	5	1901	5	15	雑録	臨末余血(其四)	小栗栖蓮船	25	
4	5	1901	5	15	雑録	会費領収報告		30	
4	6	1901	6	15	講義	聖人一流御文路弁(其六)	開悟院靈暉	1	
4	6	1901	6	15	講義	生死結句章(御一代記聞書[一]節)	香樹院徳龍	8	
4	6	1901	6	15	説教	説教	赤松円純	12	
4	6	1901	6	15	法話	紀念御法要に際し高倉大学寮に於て	牧野神爽	17	
4	6	1901	6	15	雑録	夏居厄開講		26	
4	6	1901	6	15	雑録	講師		26	
4	6	1901	6	15	雑録	舍利講式存覚上人の作と称す今猶真言等の諸宗に於て依用す偶謄本を得たり依りて之を録すといふ		26	
4	6	1901	6	15	雑録	牧山翁碑	水松山衲	29	
4	6	1901	6	15	雑録	詞藻【詠雪中竹二首/結句筆力極剛…】	高松陸舟	31	
4	6	1901	6	15	雑録	会費領収報告		32	
4	7	1901	7	15	講義	生死結句章(其二)	香樹院徳龍	1	
4	7	1901	7	15	説教	明治三十四年六月十九日先朝大師堂に於て	吉谷覺寿	8	
4	7	1901	7	15	説教	説教	広瀬守一	13	
4	7	1901	7	15	法話	釈門儆戒序	(理綱院)	19	
4	7	1901	7	15	法話	釈門儆戒	理綱院慧琳	21	
4	7	1901	7	15	雑録	講習会	思道亭主人	27	
4	7	1901	7	15	雑録	大門樓上安置三尊像に就いて	思道亭主人	27	
4	7	1901	7	15	雑録	隣山専門学林(教海一瀾転載)		28	
4	7	1901	7	15	雑録	牧山佐藤先生逸事	門人釈元達・釈龍舟共記	29	
4	7	1901	7	15	雑録	詞藻【送道友秀公従軍入清京/送清僧光明直入北京】	水松山衲識	31	
4	7	1901	7	15	雑録	学師会啓告		31	
4	7	1901	7	15	雑録	会費領収報告		32	
4	7	1901	7	15	雑録	【本年度、前半期精算の都合も有之候につき…】	貫誠々々計係	32	会費滞納者及び代価不納者への送金の督促
4	8	1901	9	15	講義	生死結句章(其三)	香樹院徳龍	1	
4	8	1901	9	15	講演	従是西方	清井湛臺	7	
4	8	1901	9	15	説教	説教	大江琢成	12	
4	8	1901	9	15	演説	輪回之説(承前)	江村秀山	20	
4	8	1901	9	15	雑録	【八月は例年の通り本会の会報を休刊せり…】		24	
4	8	1901	9	15	雑録	高倉大学寮申報(夏安居/秋安居/終年講開筵/職者転進/夏安居所化の優等者)		24	
4	8	1901	9	15	雑録	詞藻【浄土見聞集大意/初明初七日相/二明二七日相…】	良雄(南条文雄師祖父)	25	
4	8	1901	9	15	雑録	大学寮振起の趣意書		27	
4	8	1901	9	15	雑録	正証		28	
4	8	1901	9	15	雑録	会費領収報告		28	
4	9	1901	10	15	講義	生死結句章(其四)	香樹院徳龍	1	
4	9	1901	10	15	講演	従是西方の説(其二)	清井湛臺	7	
4	9	1901	10	15	説教	明治三十四年彼岸会九月二十六日昼大師堂に於て	吉谷覺寿	12	
4	9	1901	10	15	演説	輪回之説(承前)	江村秀山	18	
4	9	1901	10	15	演説	釈門儆戒(第四編第七集の続)	理綱院慧琳	22	
4	9	1901	10	15	雑録	講者転進		28	
4	9	1901	10	15	雑録	真宗高倉大学寮状況		28	
4	9	1901	10	15	雑録	大学寮職員目下左の如し		28	
4	9	1901	10	15	雑録	宗乘講義		29	
4	9	1901	10	15	雑録	【夏已来物故せられたる諸師は…】		29	
4	9	1901	10	15	雑録	舍利講式(第四編第六集の続)		29	
4	9	1901	10	15	雑録	会費領収報告		32	
4	10	1901	11	15	講義	生死結句章(其五)	香樹院徳龍	1	
4	10	1901	11	15	講演	従是西方の説(其三)	清井湛臺	7	
4	10	1901	11	15	説教	【その名号をきくといへるは…】	龍山慈影	13	
4	10	1901	11	15	演説	貴婦人会に於て	牧野神爽	20	
4	10	1901	11	15	法話	三十二箇条	香樹院慧然	23	
4	10	1901	11	15	法話	釈門儆戒(前号の続き)	理綱院慧琳	26	

4	10	1901	11	15	雑録	大学寮記事(謙者拜命/十月二十一日秋安居満筵/翌二十一日聴講試験を施行せり)		29	
4	10	1901	11	15	雑録	六要鈔講義		29	
4	10	1901	11	15	雑録	除籍		29	
4	10	1901	11	15	雑録	秋安居茶話会		29	
4	10	1901	11	15	雑録	応問一節	水松山納	29	
4	10	1901	11	15	雑録	詞藻〔天竺花…〕	高松陸舟/水松山人	31	
4	10	1901	11	15	雑録	会費領収報告		31	
4	10	1901	11	15	雑録	〔最早年度末に及び精算の都合も有之候につき…〕	貫練習会々計係	32	会費滞納者及び代価不納者への送金の督促
4	11	1901	12	15	講義	生死結句章(第六)	香樹院徳龍	1	
4	11	1901	12	15	法話	報恩講二十二日初夜改悔批判	赤松円純	7	
4	11	1901	12	15	説教	文化十一甲戌六月二十七日高倉学寮予修報恩講に於て	巴乘院宣明	12	
4	11	1901	12	15	説教	十一月二十一日夜総会所に於て	大江琢成	18	
4	11	1901	12	15	雑録	浄土真宗学軌(其二)	香樹院恵然	26	
4	11	1901	12	15	雑録	詞藻〔詠八大地獄〕	故至暁寮司	28	
4	11	1901	12	15	雑録	記事	山岸津瀧	29	
4	11	1901	12	15	雑録	会費領収報告		30	
4	11	1901	12	15	雑録	〔最早年度末に及び精算の都合も有之候につき…〕	貫練習会々計係	32	会費滞納者及び代価不納者への送金の督促
5	1	1902	1	15	講義	生死結句章(其七)	香樹院徳龍	1	目次の上に記載
5	1	1902	1	15	説教	新年の説教	吉谷覺寿	7	
5	1	1902	1	15	演説	三十四年十二月十五日大師堂に於て御消息演説	大江琢成	13	
5	1	1902	1	15	雑録	浄土真宗学軌十則(其二)	香樹院恵然	22	
5	1	1902	1	15	雑録	伊予日記	江村秀山	25	
5	1	1902	1	15	雑録	詞藻〔歳旦礼仏回向/十五日立春/送雲華尊者登富岳…〕	孤山法師/石門禪師/易行院師/徳母院師/水松山納/小川常房	28	
5	1	1902	1	15	雑録	老後墓蔵といへる事を	赤松円純	29	
5	1	1902	1	15	雑録	雑報(今回大学寮に於ては大学寮沿革略なる者を出版せらる…/大学寮にては終年講を開始し…/真宗高倉大学寮条例改正案)		30	真宗高倉大学寮条例改正案について
5	1	1902	1	15	雑録	会費領収報告		31	
5	2	1902	2	7		貫練会主旨書		(表紙裏)	本集から目次が雑誌の表紙に移る
5	2	1902	2	7		貫練会規則摘要		(表紙裏)	
5	2	1902	2	7	法話	〔信者歡喜といふはすなはち信心さだまりめれば…〕	吉谷覺寿	1	
5	2	1902	2	7	雑録	仏教統一論第一編大綱論評	会員某等	5	目次の見出しに「大乘非仏説、釈尊人格、及び仏身義に関し痛切に村上博士の意見を評論せり」という一文がある。
5	2	1902	2	7	雑報	夏安居		43	
5	2	1902	2	7	雑報	終年講		43	
5	2	1902	2	7	雑報	精道学舎		44	
5	2	1902	2	7	雑報	会費領収報告		44	
5	3	1902	3	7		貫練会主旨書		(表紙裏)	
5	3	1902	3	7		貫練会規則摘要		(表紙裏)	
5	3	1902	3	7	講義	生死結句章(其八)	香樹院徳龍	1	
5	3	1902	3	7	説教	〔十方三世の無量慧…〕	瀧美契縁	7	
5	3	1902	3	7	演説	掃蕩之両妙	江村秀山	15	
5	3	1902	3	7	演説	演説	牧野神爽	17	
5	3	1902	3	7	雑録	前田慧雲師に質す(天親龍樹の年代に就て)	内記龍舟	19	
5	3	1902	3	7	雑録	村上博士の所謂仏身論に就て	鬼頭覺道	25	
5	3	1902	3	7	雑録	詞藻〔王真新年/王真元旦口占…〕	高松陸舟/龍舟妄識/神田岨洲	29	
5	3	1902	3	7	叢報	凍死軍人追吊会		30	
5	3	1902	3	7	叢報	願真会創立式の概況	石川登久	30	
5	3	1902	3	7	叢報	会計領収報告		31	
5	4	1902	4	7	講義	生死結句章(其九)	香樹院徳龍	1	
5	4	1902	4	7	説教	明治三十五年二月二日尾張国海西郡弥富村立松家に於て	一乘院覺寿	7	
5	4	1902	4	7	法話	〔唯今より、暫く法義の御話を致します…〕	赤松円純	13	
5	4	1902	4	7	演説	学問の主義	水松山納	18	
5	4	1902	4	7	雑録	浄土真宗学軌十則(其三)	香樹院恵然	22	
5	4	1902	4	7	雑録	伊予日記(前々号の続)	江村秀山	25	
5	4	1902	4	7	雑録	詞藻〔読仏教統一論無然作咏/北野祠下作…〕	大貫旭川/水松山納/一色雪洲	26	
5	4	1902	4	7	叢報	本会説教		28	
5	4	1902	4	7	叢報	本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し		28	
5	4	1902	4	7	叢報	会費領収報告		29	
5	5	1902	5	7	講義	生死結句章(其十)	香樹院徳龍	1	
5	5	1902	5	7	説教	〔天親論主は一心に…〕	龍山慈影	7	
5	5	1902	5	7	法話	〔聖徳太子勝鬘經といへる…〕	大江琢成	14	
5	5	1902	5	7	演説	道元徳母	江村秀山	24	
5	5	1902	5	7	雑録	浄土真宗学軌十則(其四)	香樹院恵然	27	
5	5	1902	5	7	雑録	村上博士の所謂仏身論に就て(其二)	鬼頭覺道	29	
5	5	1902	5	7	雑録	高山に物して	赤松円純	31	
5	5	1902	5	7	叢報	安居開講		31	
5	5	1902	5	7	叢報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し		31	
5	5	1902	5	7	叢報	会費領収報告		32	
5	6	1902	6	7		貫練会主旨書		(表紙裏)	
5	6	1902	6	7		貫練会規則摘要		(表紙裏)	
5	6	1902	6	7	講演	発願回向	一乘院覺寿	1	
5	6	1902	6	7	説教	〔しかればまれにもうけがたきは人身、…〕	牧野神爽	7	
5	6	1902	6	7	法話	懺法一体の法話	江村秀山	13	
5	6	1902	6	7	演説	演説	赤松円純	17	
5	6	1902	6	7	雑録	浄土真宗学軌十則(其五)	香樹院恵然	21	
5	6	1902	6	7	雑録	村上博士の仏身論に就て(其三)	鬼頭覺道	24	
5	6	1902	6	7	雑録	真宗の俗諦処世	渋谷数馬	28	
5	6	1902	6	7	叢報	夏安居開講		31	
5	6	1902	6	7	叢報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し		31	
5	6	1902	6	7	叢報	会費領収報告		32	
5	7	1902	7	7	講演	報恩称名	龍山慈影	1	
5	7	1902	7	7	説教	説教(前集の続)	牧野神爽	6	
5	7	1902	7	7	法話	法話	赤松円純	11	
5	7	1902	7	7	演説	道元徳母 前々集の続	江村秀山	17	
5	7	1902	7	7	雑録	浄土真宗学軌十則(其六)	香樹院恵然	18	
5	7	1902	7	7	雑録	故了祥師十疑論主考		22	
5	7	1902	7	7	雑録	楠講師略伝		24	
5	7	1902	7	7	雑録	詞藻〔蓮生房倒騎円賛/唯識論をきゝてよめる…〕	水松山納/赤尾徳成/寮司徳成	28	
5	7	1902	7	7	叢報	大学寮夏安居開講		29	
5	7	1902	7	7	叢報	夏安居内講開筵		29	
5	7	1902	7	7	叢報	夏安居講究開席		29	
5	7	1902	7	7	叢報	御親臨		30	
5	7	1902	7	7	叢報	召集学師		30	
5	7	1902	7	7	叢報	講者転進		30	
5	7	1902	7	7	叢報	論計講義		30	
5	7	1902	7	7	叢報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し		30	
5	7	1902	7	7	叢報	会計領収報告		31	
5	7	1902	7	7	叢報	〔来る八月は例年の通り会報休刊致す旨に付き…〕		32	八月休刊の通知
5	8	1902	9	7	講演	称名報恩(其二)	龍山慈影	1	「報恩称名」の誤記。朱書きで訂正あり。
5	8	1902	9	7	説教	大学寮予修報恩講	本多祐護	7	
5	8	1902	9	7	説教	自信教人信、難中転更難、大悲伝普化、真成報仏恩	牧野神爽	12	
5	8	1902	9	7	講義	生死結句章(其十一)	香樹院徳龍	16	
5	8	1902	9	7	演説	道は近きに在り	江村秀山	22	
5	8	1902	9	7	雑録	浄土真宗学軌十則(其七)	香樹院恵然	24	

5	8	1902	9	7	雑録	故了祥師十疑論主考			27	
5	8	1902	9	7	雑録	詞藻【無題／一心不乱の経文のころを…】	大倉師		29	
5	8	1902	9	7	彙報	真宗高倉大学寮近況(旅斎経執行/安居茶話会/連枝御臨席/内講満庭/夏安居満講/予修報恩講/秋安居開筵/[随喜会茶話会の席上内外に於て劣を取りし諸氏は…]/[来三十六年夏安居講本は…]/先月は例年の通会報休刊せり/本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し)			29	
5	8	1902	9	7	彙報	正誤			31	
5	8	1902	9	7	彙報	会費領収報告			31	
5	9	1902	10	7		貫練会主旨書				(表紙裏)
5	9	1902	10	7		貫練会規則摘要				(表紙裏)
5	9	1902	10	7	講演	報恩称名(其三)	龍山慈影		1	
5	9	1902	10	7	説教	(蓮師御詠歌讃題)	赤松円純		7	
5	9	1902	10	7	説教	(御一代問書讃題)	広瀬守一		13	
5	9	1902	10	7	講義	生死結句章(其十二)	香樹院徳龍		17	
5	9	1902	10	7	雑録	菩薩代受苦説	清井湛雲		22	
5	9	1902	10	7	雑録	故了祥師十疑論主考			25	
5	9	1902	10	7	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其一)			29	
5	9	1902	10	7	彙報	真宗高倉大学寮近況(専攻教員始業式/終年講始業式/茶話会/専攻教員指導/終年講教授/本会説教/先月本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し)			30	
5	9	1902	10	7	彙報	会費領収報告			32	
5	10	1902	11	7		貫練会主旨書				(表紙裏)
5	10	1902	11	7		貫練会規則摘要				(表紙裏)
5	10	1902	11	7	講演	不来迎義	一乘院覚寿		1	
5	10	1902	11	7	説教	報恩講説教	円乘院宣明		9	
5	10	1902	11	7	説教	(和讃讃題)	菅原碩城		13	
5	10	1902	11	7	演説	養徳会席上に於て	江山秀山		18	「江村秀山」の誤記か
5	10	1902	11	7	雑録	菩薩代受苦説(其二)	清井湛雲		23	
5	10	1902	11	7	雑録	故了祥師十疑論主考(承前)			25	
5	10	1902	11	7	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其二)			26	
5	10	1902	11	7	雑録	詞藻(偶作/東山探秋)	仏一道人		29	
5	10	1902	11	7	彙報	真宗高倉大学寮近況(一 舎監任命/秋一安居満庭/一 聴講試験/一 講師報恩講/先月本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し)			30	
5	10	1902	11	7	彙報	会費領収報告			31	
5	11	1902	12	7		貫練会主旨書				(表紙裏)
5	11	1902	12	7		貫練会規則摘要				(表紙裏)
5	11	1902	12	7	講演	現生不退	赤松円純		1	
5	11	1902	12	7	説教	明治三十五年十一月二十六日大師堂改悔批評大意	一乘院覚寿		7	
5	11	1902	12	7	法話	貫練会(出張)に於ける法話	牧野神爽		13	
5	11	1902	12	7	雑録	菩薩代受苦説(其三)	清井湛雲		20	
5	11	1902	12	7	雑録	改過遷善	菅原碩城		22	
5	11	1902	12	7	雑録	唐書に載せたる伝書	水松山衲		24	
5	11	1902	12	7	雑録	故了祥師十疑論主考(承前)			27	
5	11	1902	12	7	彙報	本会説教			29	
5	11	1902	12	7	彙報	先月本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し			30	
5	11	1902	12	7	彙報	会費領収報告			30	
5	11	1902	12	7	彙報	[最早年度末に際し精算の都合も有之候に付…]	貫練会々計係		32	会費滞納者及び代価不納者への送金の督促
6	1	1903	1	10	箴言	箴言	香樹院徳龍			
6	1	1903	1	10	講演	(御一代問書第一章)	龍山慈影		1	
6	1	1903	1	10	説教	(和讃々題)	広瀬守一		6	
6	1	1903	1	10	法話	御文法話(三十五年報恩講総会所に於て)	牧野神爽		11	
6	1	1903	1	10	演説	温故知新(顕真会に於て)	水松山衲		15	
6	1	1903	1	10	雑録	福祿寿話	江村秀山		19	
6	1	1903	1	10	雑録	詞藻【新年古偈/除夕偶成/元旦口占…】	仏一道人		27	
6	1	1903	1	10	彙報	講者転進	高松陸舟/小川又次郎		30	
6	1	1903	1	10	彙報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し			30	
6	1	1903	1	10	彙報	収支決算報告			31	
6	1	1903	1	10	彙報	会費領収報告			31	
6	2	1903	2	10		貫練会主旨書				(表紙裏)
6	2	1903	2	10		貫練会規則摘要				(表紙裏)
6	2	1903	2	10	講演	摂取光益	一乘院覚寿		1	原本に紙を上貼り修正した痕あり。
6	2	1903	2	10	説教	(和讃々題)	高橋忠性		7	
6	2	1903	2	10	法話	(御文和讃題)(承前)	牧野神爽		13	
6	2	1903	2	10	法話	御一代記第四十六章	皆往院風嶺		17	
6	2	1903	2	10	演説	温故知新(承前)	水松山衲		21	
6	2	1903	2	10	雑録	故了祥師十疑論主考(承前)			24	
6	2	1903	2	10	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其三)			25	
6	2	1903	2	10	雑録	詞藻(癸卯新年口占/新年御題)	高松陸舟/小川又次郎		28	
6	2	1903	2	10	彙報	講者転進			28	
6	2	1903	2	10	彙報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し			28	
6	2	1903	2	10	彙報	会費領収報告			29	
6	3	1903	3	10		貫練会主旨書				(表紙裏)
6	3	1903	3	10		貫練会規則摘要				(表紙裏)
6	3	1903	3	10	講演	信心仏性	龍山慈影		1	
6	3	1903	3	10	説教	二月二十四日大師堂に於て	内記龍舟		9	
6	3	1903	3	10	法話	(御文和讃題)	牧野神爽		16	
6	3	1903	3	10	演説	明治三十六年二月二十八日大師堂に於て	江村秀山		21	
6	3	1903	3	10	雑録	故了祥師十疑論主考(承前)			25	
6	3	1903	3	10	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其四)			27	
6	3	1903	3	10	雑録	詞藻(二月十一日書感/歳晚客懐/元旦二首)	高松陸舟/佐々木円慰		29	
6	3	1903	3	10	彙報	安居期日変更			30	
6	3	1903	3	10	彙報	安居内講			30	
6	3	1903	3	10	彙報	御朝臨			30	
6	3	1903	3	10	彙報	法義引立の尊命			30	
6	3	1903	3	10	彙報	講者会議			31	
6	3	1903	3	10	彙報	論達			31	
6	3	1903	3	10	彙報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し			32	
6	3	1903	3	10	彙報	会費領収報告			32	
6	4	1903	4	10		貫練会主旨書				(表紙裏)
6	4	1903	4	10		貫練会規則摘要				(表紙裏)
6	4	1903	4	10	講演	触光柔軟章(其一)御一代問書二百九十三章	香樹院徳龍		1	
6	4	1903	4	10	説教	(御文讃題)	一乘院覚寿		8	
6	4	1903	4	10	法話	(和讃々題)	江村秀山		13	
6	4	1903	4	10	演説	為心走使	赤松円純		18	
6	4	1903	4	10	雑録	高義大師	草野道源		24	
6	4	1903	4	10	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其五)			26	
6	4	1903	4	10	彙報	夏安居			31	
6	4	1903	4	10	彙報	法義引立の巡回			31	
6	4	1903	4	10	彙報	彼岸会			32	
6	4	1903	4	10	彙報	正誤			32	
6	4	1903	4	10	彙報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌左の如し			32	
6	4	1903	4	10	彙報	会費領収報告				(本文欠)
6	5	1903	5	10		貫練会主旨書				(表紙裏)
6	5	1903	5	10		貫練会規則摘要				(表紙裏)
6	5	1903	5	10	講演	触光柔軟章(其二)御一代問書二百九十三章	香樹院徳龍		1	
6	5	1903	5	10	説教	(和讃々題)	赤松円純		9	
6	5	1903	5	10	法話	(御文讃題)(承前)	牧野神爽		14	
6	5	1903	5	10	雑録	讃嘆式	思道亭主人吐仏		22	
6	5	1903	5	10	雑録	高義大師(承前)	草野道源		26	

6	5	1903	5	10	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其六)		29	
6	5	1903	5	10	彙報	真宗高倉大学寮近況(一 昨年度夏安居中教師補二十名…) ／一 夏安居開講／法義引立の巡回)		31	
6	5	1903	5	10	彙報	会費領収報告		32	
6	6	1903	6	10		〔一同 羽前 講邊了義…〕			(表紙裏)
6	6	1903	6	10		〔最早本年度前半期末に際し…〕	貫練会々計係		(表紙裏)
6	6	1903	6	10	講義	触光柔軟章(其三)	香樹院徳龍	1	
6	6	1903	6	10	説教	明治三十六年五月二十日昼大師堂に於て	一乘院覚寿	7	
6	6	1903	6	10	法話	(御文讀題)(承前)	牧野神爽	12	
6	6	1903	6	10	演説	懺悔位長	江村秀山	21	
6	6	1903	6	10	雑録	高倉大学寮沿革(其七)		25	
6	6	1903	6	10	雑録	詞藻(提光公来訪記)	故森本啓南	28	
6	6	1903	6	10	彙報	真宗高倉大学寮近況(安居開講／講本変更／内講開筵／講究開席／講者転進／内講開筵／講究開席／講者転進／先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌書籍は左の如し)		30	
6	6	1903	6	10	彙報	会費領収報告		32	
6	7	1903	7	10		貫練会主旨書			(表紙裏)
6	7	1903	7	10		貫練会規則摘要			(表紙裏)
6	7	1903	7	10	講義	触光柔軟章(其四)	香樹院徳龍	1	
6	7	1903	7	10	説教	御一代開書	江村秀山	7	
6	7	1903	7	10	法話	(御文讀題)(承前)	牧野神爽	13	
6	7	1903	7	10	演説	大小二巻	赤松円純	20	
6	7	1903	7	10	雑録	高倉大学寮沿革(其八)		25	
6	7	1903	7	10	雑録	詞藻(選道交…)	貝原損軒書、大窪行題／一色覚成	28	
6	7	1903	7	10	彙報	真宗高倉大学寮近況(一 台下御親臨／一 連枝御臨席／一 研究会人名／一 本部長論達／一 夏安居内講／一 旅斎経執行／一 専攻員休業／一 専攻員人名)		30	
6	7	1903	7	10	彙報	砺波庄太郎氏逝く		31	
6	7	1903	7	10	彙報	先月中本会へ各地より寄贈せられたる雑誌書籍左の如し		31	
6	7	1903	7	10	彙報	〔来る八月は例年の通り会報休刊致す旨に付き…〕		32	8月休刊のお知らせ
6	7	1903	7	10	彙報	会費領収報告		32	
6	8	1903	9	10		貫練会主旨書			(表紙裏)
6	8	1903	9	10		貫練会規則摘要			(表紙裏)
6	8	1903	9	10	講義	触光柔軟章(其五)	香樹院徳龍	1	
6	8	1903	9	10	説教	(和讃々題説教)	江村秀山	7	
6	8	1903	9	10	法話	婦人会に於て	赤松円純	14	
6	8	1903	9	10	法話	(御文讀題)(承前)	牧野神爽	18	
6	8	1903	9	10	雑録	高倉大学寮沿革(其九)		24	
6	8	1903	9	10	雑録	吉谷講師九州巡回日記	左藤了秀	25	
6	8	1903	9	10	彙報	真宗高倉大学寮近況(一 夏安居満講／一 予修報恩講／一 秋安居開筵)		30	
6	8	1903	9	10	彙報	吉谷講師九州巡回日割		31	
6	8	1903	9	10	彙報	熊本菊地円隆井波澄影函氏より報告あり		31	
6	8	1903	9	10	彙報	精進学舎		32	
6	8	1903	9	10	彙報	応用説教講義		32	
6	8	1903	9	10	彙報	先月先々月に於ける各地より寄贈せられたる雑誌は左の如し		32	
6	8	1903	9	10	彙報	正誤		32	
6	8	1903	9	10	彙報	先月は例年の通り本会々報休刊をなせり		32	
6	8	1903	9	10	彙報	会費領収報告		32	
6	9	1903	10	10		貫練会主旨書			(表紙裏)
6	9	1903	10	10		貫練会規則摘要			(表紙裏)
6	9	1903	10	10	講義	触光柔軟章(其六)	香樹院徳龍	1	
6	9	1903	10	10	説教	正信偈讀題 明治三十六年十月三日大師堂に於て	一乘院覚寿	7	
6	9	1903	10	10	法話	(御文讀題)	牧野神爽	12	
6	9	1903	10	10	法話	左の前号同人の法話の初めのところの在るべきを原稿延着につき掲載する能はざるを以て茲に之を載するものなり		20	
6	9	1903	10	10	雑録	隴山の御親示		24	
6	9	1903	10	10	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其十)		26	
6	9	1903	10	10	雑録	詞藻(贈支那龍泉寺本然書)		30	
6	9	1903	10	10	彙報	彼岸会説教		32	
6	9	1903	10	10	彙報	先月各地より寄贈せられたる雑誌並びに書籍左の如し		32	
6	9	1903	10	10	彙報	会費領収報告		32	(本文欠)
6	10	1903	11	10		貫練会主旨書			(表紙裏)
6	10	1903	11	10		貫練会規則摘要			(表紙裏)
6	10	1903	11	10	講義	触光柔軟章(其七)	香樹院徳龍	1	
6	10	1903	11	10	説教	正信偈讀題 明治三十六年十月二十二日総会所に於て	一乘院覚寿	8	
6	10	1903	11	10	法話	(御文讀題)(承前)	牧野神爽	12	
6	10	1903	11	10	演説	道は近きにあり	江村秀山	24	本文の署名に江村の「江」が欠字となっている。
6	10	1903	11	10	彙報	真宗高倉大学寮近況(副読開講／会読開席／副講会読満筵／秋安居満筵／贈講師／龍山講師)		27	
6	10	1903	11	10	彙報	所達第八号	瀧美契縁	27	
6	10	1903	11	10	彙報	終年講聴讀者募集		28	
6	10	1903	11	10	彙報	隴山学政の方針(学制更改方針／本派学制更改の方針)		29	
6	10	1903	11	10	彙報	会費領収報告		32	(本文欠)
6	11	1903	12	10		貫練会主旨書			(表紙裏)
6	11	1903	12	10		貫練会規則摘要			(表紙裏)
6	11	1903	12	10	講義	触光柔軟章(其八)	香樹院徳龍	1	
6	11	1903	12	10	講話	積徳教会講話大意 明治三十六年十一月八日	一乘院覚寿	7	
6	11	1903	12	10	説教	(御文讀題)	広瀬守一	11	
6	11	1903	12	10	法話	(御文讀題)	牧野神爽	16	
6	11	1903	12	10	説教	説教 明治三十六年十月廿二日総会所に於て	一乘院覚寿	23	前集既に掲載せし所誤植錯雑少なからず仍りて本集に再録す
6	11	1903	12	10	雑録	真宗高倉大学寮沿革(其十一)		28	
6	11	1903	12	10	雑録	詞藻(贈支那龍泉寺本然書(承前)／寿某老翁七十／秋晚偶吟…)	一色覚成／釈霍円ほか	31	
6	11	1903	12	10	彙報	明三十七年夏安居講本及読者左の如し		35	
6	11	1903	12	10	彙報	大学寮記事		35	
6	11	1903	12	10	彙報	会報は 毎月十日発行の処本月に限り二十日に延期す		35	
6	11	1903	12	10	彙報	報恩講説教		35	
6	11	1903	12	10	彙報	三寶日記		35	
6	11	1903	12	10	彙報	〔本会は 講者講師の尽力と会員諸君の愛顧とに依り…〕		35	改題の報告
6	11	1903	12	10	彙報	先月先々月より寄贈せられたる雑誌書籍左の如し		35	
6	11	1903	12	10	彙報	会費領収報告		36	